



つびまる

シジュウカラ 第111号

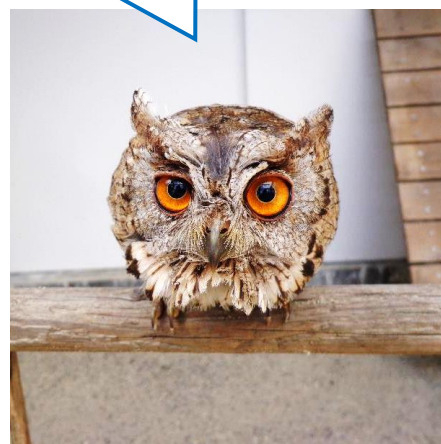
日中は眠いです。
目を細めてじっとしている
ことがほとんどです。



警戒すると体を細くして
木に擬態します。



近づかないで！！



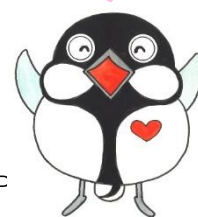
もくじ

- 1 ページ ・ いろんな表情をするオオコノハズク
- 2 ページ ・ 野鳥の捕獲や飼育はできません！
- 3 ページ ・ イベント案内（令和7年11月～令和8年3月）
・ イベント報告（令和7年4月～7月）
- 4 ページ ・ 傷病鳥獣の収容状況（令和7年4月～7月）
・ 愛鳥センター利用案内

ホームページもチェックしてね



愛鳥センターHF
QRコード



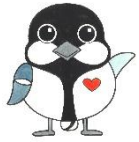
表紙の写真 いろんな表情をするオオコノハズク

令和7年1月に粘着物を用いたネズミ捕りに掛かり、保護されました。多くの羽が抜けたため、現在、飼育舎で羽が生え揃うのを待っているところです。

人が接近すると、眼をパッチリ開けて体を上下に揺らすなど、いろんな表情をする面白い鳥です。愛嬌があって可愛く見えますが、実はこの時、警戒しています。職員が清掃するために飼育舎に入る場合は、見ていないフリをして出来るだけストレスを与えないように配慮しています。

野鳥にとって人間は危険で怖いもの。野鳥を可愛いと思って人が一方的に接近する事は、鳥に強いストレスを与えることになります。野鳥を観察する際は、適切な距離をおく事が大切です。

また、ネズミ捕りに野鳥が誤って掛かってしまう事例は毎年起こっています。設置する場合は野鳥が入りこまない場所への設置をお願いいたします。



野鳥の捕獲や飼育はできません！

愛鳥センターでは、違法飼育の事件があった場合に警察から鳥の種判別の協力を依頼されたり、違法飼育をされていた鳥が放鳥できない場合に収容をすることがあります。

野鳥は鳥獣保護法で守られているため、原則は許可なく捕獲や飼育ができません。しかし、昔は野鳥を捕獲して飼うことが許されていた時代もあったので、そこから抜け出せずに未だに違法に野鳥を捕獲、飼育している人がいます。

愛鳥センターでこれまでに違法飼育の事件に協力した事例を集計し、どのような鳥が被害に遭っているかを調べてみました。

平成9年から令和7年7月までに愛鳥センターが協力した事件では、22種が確認されました。合計で特に多かったのはヒガラ78羽、ヤマガラ54羽、メジロ46羽でした。他に、ウグイス、キビタキ、オオルリ、コマドリ、アオジなど、鳴き声や姿が美しいもので被害が多い傾向がありました。

これらの違法飼育個体が押収された場合には、全てが愛鳥センターに収容されるわけではなく、放鳥可能なものは放鳥します。羽が抜けている、飛行ができないなどで放鳥不可能な場合には収容しています。違法飼育の羽数が特に多かった3種について、平成20年度～令和6年度の収容データをもとに、収容原因を調べてみました。

ヒガラは15羽の収容があり、このうち14羽が違法飼育、1羽が死体収容でした。ヤマガラは9羽の収容があり、7羽が違法飼育、2羽が衝突でした。メジロは57羽の収容があり、3羽が違法飼育、21羽が衝突、2羽が誤認保護、7羽が巣から落下又は巣の撤去、3羽が他動物の襲撃、3羽が粘着物の付着、1羽が衰弱、17羽が死体収容でした。

ヒガラとヤマガラは、ほとんどが違法飼育による収容ということがわかります。それに対してメジロは、違法飼育で収容となるものは少ないものの、人間の生活の影響を受けた様々な要因で収容されていることがわかります。この違いは、人間の生活圏の近くに生息しているかどうかや、行動の違いなどを反映しているのではないかと思います。



ヒガラ

鳴き声の良さやかわいらしさなどから、県内での違法飼育が特に多い種です。

最初から飼育を目的とした違法捕獲・飼育の他に、傷病鳥を保護し、そのまま飼育を続けてしまった事例もあります。鳥を助けたいという優しい気持ちで保護したはずが、犯罪につながってしまうことはとても残念なことです。違法飼育事件として立件され、押収されたその鳥を収容する私たちも、とても複雑な気持ちになります。

事件とはならなくても、長期に飼育した後に困って愛鳥センターに相談をいただくことも度々あります。もし違法だと知らずに（または知っていても）今飼育を続けている人がいたら、飼い続けるという判断はせず、放鳥可能な状態であればすぐに放鳥してください。放鳥不可能な場合は愛鳥センターにご相談ください。



令和7年11月～令和8年3月イベント案内

参加費はすべて無料です。イベントの詳細はホームページでご確認ください。

愛鳥講演会 申し込み受付開始 10/1～

今年度は「希少種の保護」をテーマに開催します。

日時：令和7年11月22日（土）13：30～15：30

場所：県立生涯学習推進センター1階ホール

新潟市中央区女池南3-1-2

定員：95名

講師：山階鳥類研究所 副所長 尾崎清明 氏

演題：「希少鳥類の保全、私達にできること」

ートキ・ヤンバルクイナなどー

申込み締切：11月19日（水）または定員に達し次第



野鳥写真展作品募集 応募要領はHPまたはチラシ

をご確認ください。応募作品は新潟県内で撮影されたものに限りです

応募資格：新潟県内在住者

応募点数：2L版で1人5枚まで

審査員：日本野鳥の会新潟県 会長 岡田成弘 氏

応募締切：令和8年1月5日（月）必着



探鳥会・観察会 申し込み受付開始 11/1～

○弁天湯探鳥会

日時：令和7年12月7日（日）8：00～10：00

場所：弁天湯（聖籠町） 定員：20名

集合：弁天湯風致公園駐車場

○足跡ウォッチング

日時：令和8年1月18日（日）9：00～11：00

場所：愛鳥センター 定員：20名

講師：高橋 泉 氏（自然観察指導員の会）

○愛鳥センターバードウォッチング③

日時：令和8年3月8日（日）9：00～10：30

場所：愛鳥センター 定員：20名

申込み方法

住所・氏名・電話番号・年齢を明記して、電話、はがき、FAX、E-mailにてお申し込みください。愛鳥講演会はホームページ電子申請からもお申込みいただけます。

特別展

2階ロビーにて開催します。開館時間中自由に見学できます。

★令和8年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール新潟県大会入賞作品展

9月20日（土）～10月19日（日）

★冬季特別展「知ってるようで知らない 身近な鳥のこと」

11月1日（土）～2月11日（水）



小学校の部金賞



中学校の部金賞



令和7年4月～7月イベント報告

イベント報告の詳細はホームページに掲載しています。

◆初心者バードウォッチング

日時：①4月20日（日）②4月29日（火・祝）

9：00～10：30

場所：愛鳥センター周辺 天気：①曇時々小雨 ②曇

参加者：①10名 ②8名

確認鳥種：①18種 ②18種

◆羽のしおり作り教室

日時：5月3日（土・祝）～5月5日（月・祝）

13：30～15：00

場所：愛鳥センター2階レクチャールーム

参加者：88名（3日間計）

◆愛鳥センターバードウォッチング①

日時：令和7年5月10日（土）9：00～10：30

場所：愛鳥センター周辺 天気：曇

参加者：6名 確認鳥種：24種



羽のしおり

◆新潟県野鳥保護の集い

日時：6月7日（土）13：30～15：30

参加者：40名

演題1：新潟県におけるサギ類コロニーの現状

新潟県野鳥愛護会 江川浩之 氏

演題2：トキが身近にある暮らし

NPO 法人ときドキ応援団 理事長 仲川純子 氏

◆標本作製講習会

日時：7月13日（日）9：45～15：30

場所：自然科学館 科学室 参加者：10名

講師：岩見恭子 氏（山階鳥類研究所）

◆昆虫観察会

日時：7月20日（日）9：00～10：45

場所：愛鳥センター周辺 天気：晴れ

参加者：22名

講師：遠藤正浩 氏（胎内昆虫の家）



トキ



参加者のみなさんが
作製した仮剥製



令和7年4月～令和7年7月の傷病鳥獣収容結果

収容 NO.	種類	3月末 収容数	収容数	放鳥獣	返還 譲渡	死亡	7月末 収容数	収容 NO.	種類	3月末 収容数	収容数	放鳥獣	返還 譲渡	死亡	7月末 収容数
(鳥類)								15	チョウゲンボウ	5	3	1		1	6
	コハクチョウ	3					3	16	ハヤブサ	1	1			1	1
	ヤマドリ	1					1	17	モズ		1			1	0
1	キジ		3	1		1	1		オナガ	1					1
2	ヨタカ		1			1	0	18	ハシボソガラス	3	2			1	4
3	キジバト		2	1		1	0	19	ハシブトガラス		1	1			0
4	アオバト	2	1			1	2	20	ヒガラ		1				1
5	カンムリカイツブリ		1	1			0	21	シジュウカラ		3	1		2	0
6	ヤマシギ		1			1	0	22	ヒヨドリ	1	2			2	1
7	タシギ		1			1	0	23	ツバメ		17	7		10	0
8	ウミネコ	4	1			1	4	24	ムクドリ		4	3		1	0
	ゴイサギ	1					1	25	コムクドリ		1	1			0
9	ミサゴ		1			1	0	26	イソヒヨドリ		1	1			0
	クマタカ	1					1	27	スズメ		3	3			0
	トビ	10					10	28	ハクセキレイ		4	2		1	1
10	サシバ	2	1	1			2	29	カワラヒワ		1			1	0
	ノスリ	2					2	30	ホオジロ		3			1	2
11	アオバズク		1				1	31	ドバト	1	1			1	1
	オオコノハズク	1					1	小計		40	68	25	0	34	49
12	トラフズク		3	1		1	1	(獣類)							
	フクロウ	1					1	1	キツネ		1			1	0
13	カワセミ		1			1	0	小計		0	1	0	0	1	0
14	コゲラ		1			1	0	合計		40	69	25	0	35	49

令和7年4月1日～7月31日までの収容数は、鳥類31種68羽、獣類1種1頭で、昨年度の同時期（鳥類90羽、獣類0頭）と比べ鳥類は減少し、獣類は増加した。



利用者数

月	4月	5月	6月	7月	計	累計
来館者数	425	760	493	329	2,007	655,076
相談件数	25	93	86	89	293	—

館内設置のトキ募金箱の報告

令和7年4月～令和7年7月 5,022円 累計 340,807円

皆様の善意に深く感謝いたします。今後とも御協力をお願いします。



新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里

開館時間：午前9時～午後4時

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）

〒957-0231 新発田市藤塚浜海老池

Tel：0254-41-4500 Fax：0254-41-4501

HP：<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/aicho/>

E-mail：aicho-center@pref.niigata.lg.jp

